

繪本
敵討

岩見英雄錄

第二

壹

遠

2509

35-8



遠
2509
卷 35-8

南海 水原玉藻畫圖



渡仇英雄錄

全部
七册

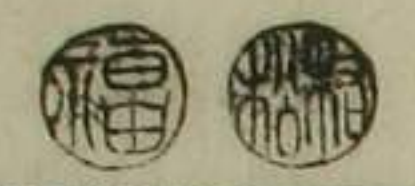


浪花
書林
文榮堂

叙



善者人心之所固者加鼓之則
舞振之則起焉能鼓而舞
之振而起之若則皆有補於
世教物也業鄉有小吏正未
者有故而志此奴亦從而去



度九史准錄公及用字

每子其力至主夫婦流為十
年未老一日情也生奴老讀
繪孝忠臣藏至古軍平右漸
子嘆曰人雖賤也軍主若不
苟不如此即年又當軍鄰
却一世其天性為高切疾何聽人

演野史者所感寫遂痛生德
之云夫禁史小說為經生文士
之所鄙棄而正教舞而
振起人心之善者如此是猶
近遠徑義府爛文字少定
不亦遠乎頃者有諱刻岩

見英雄録後編若而末清
序子余、固記堂所軍見
以證野史小説之有補於
世教也嘉永二歲在己酉
秋七月芙蓉位上存識

徳川

御用金

若松太兵衛





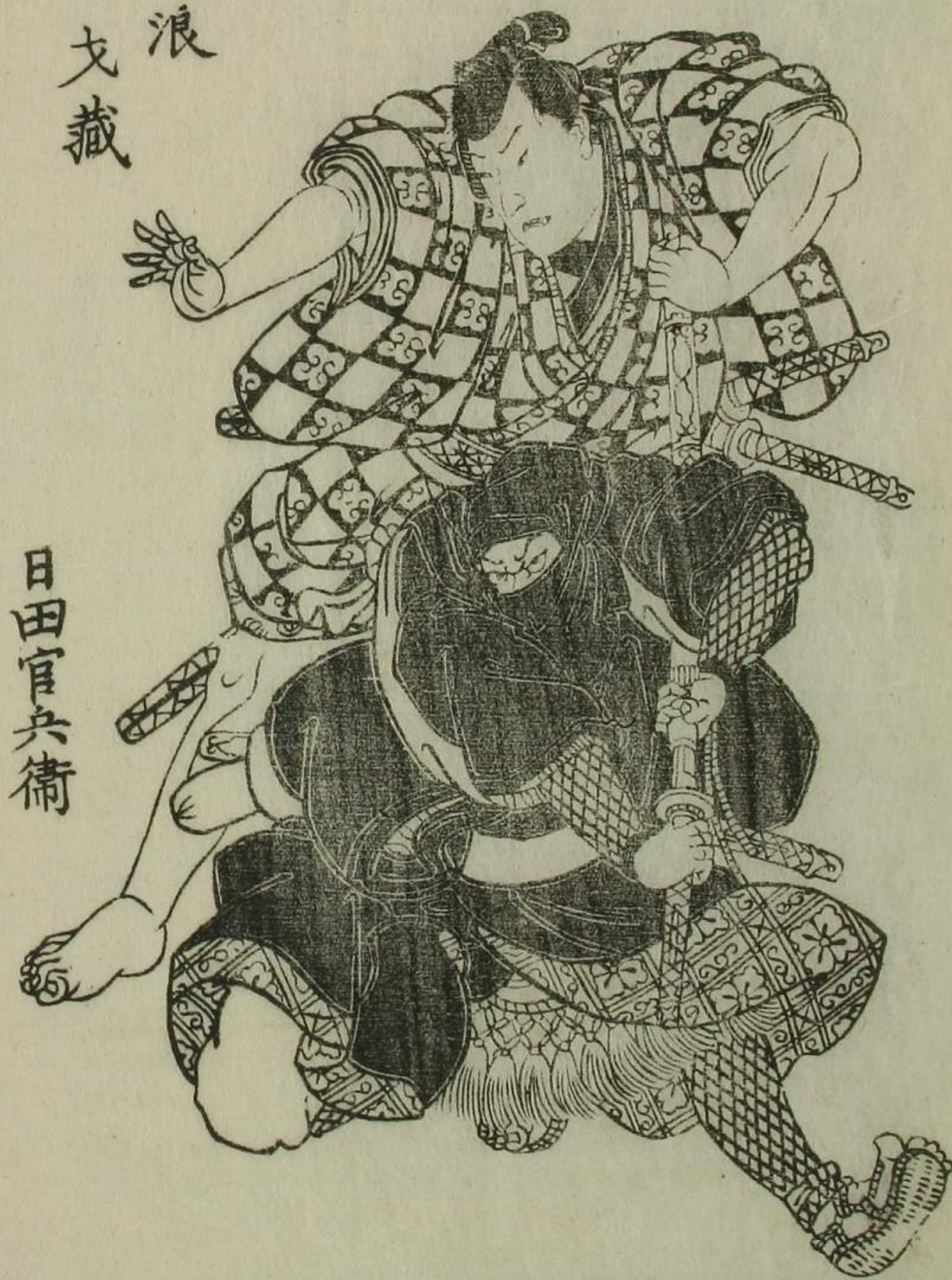
赤見
軍六



又藏妻
おつ

復仇録後編

小浪
又藏



日田官兵衛

復仇録後編

四三

仙石周馬
好勝

岩見
重太郎



繪本復仇英雄傳後編卷之一

岩見兼足兄妹逢又誓話

天は不時の風雲あり人に不測の患難ありとや岩見重花
 兼足は妹鬮子成侍ひて永禄九年の春に末行りておの
 り籠前名崎の城下を出入り路より東山乃の園を徑過
 秋九月十九日信濃國宮遠下を文誠の陰謀に迷ひ入り
 て山城のる小妹と勾引されしを以て終に賊魁と號
 せし井上六兵衛以下の亮徒を獲ぬ月を候り兼内知ぬ
 山道故にやういそぎて崩小里におそひし物も重く
 月どよみの年も苦く永禄十年春三月の頃武州豊崎郡小
 来りて長に志づく澤邊湯崎の天神乃廟儀子なるお観音





岩見氏孝女
嗣子之像

當年勇健

獨猴怪

不斬君臣

有虺蛇

竹橋主人



團萬右衛門
永頼之像

重る人立多き所を頼む出り。ふと人の噂は西の方の浪士を
りて。之れ奥具仕官の為ふりし守り。善也。鹽屋家廣
成瀬大川。何れもやと陸奥と志し。何れもや。正月下旬の
下野園。何れもや。片岡驛と打退く。板橋の驛。何れもや。暇は
け。西の方。山前。板本の林。何れもや。向ふ。小川の流。何れもや。
板橋の宿。何れもや。月。何れもや。見。何れもや。何れもや。長。何れもや。
一。何れもや。枕。何れもや。月。何れもや。日。何れもや。果。何れもや。
眼。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
若。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
幸。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
物。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。

業を振。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
俄。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
居。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
懐。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
さ。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
い。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
重。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
も。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
有。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。
と。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。何れもや。

き以て過るべきやとあつては、使ひわく。あはく候は、いれ見上大
幸の望みある所、所なたと、若く濟産せし、日も早著し、近き
り、近道申小卧て居給ひる、いとも、温氣小、居守り、病を治す
身。板橋より、人も甚近れ、儀子、臥さう、あつせん、肩小、越り
て、家ある、方と、急ぎ、り、多、治れ、と、云も、切ら、公根を、思ひ、や
り、打、點、改、り、等、を、く。大、幸、と、抱、一、此、身、水、少、の、病、多、ふ、く、る
宮、狩、実、儀、候、り、さ、さ、い、今、も、月、板、橋、今、市、の、向、う、く。保、養、は、し、
何、と、爰、に、在、る、金、き、や、と、精、神、を、勵、ま、勉、強、て、立、上、せ、い、嗣、子、も、
い、い、り、試、別、被、け、く、た、ら、う、行、小、幸、引、く、痛、や、些、と、感、さ、う、は、似、れ、
大、敷、小、産、候、り、も、あ、つ、た、頼、岡、く、是、を、振、ふ、脚、跟、踏、し、あ、く、
歩、む、ら、う、江、日、西、子、沈、み、諸、鳥、啼、を、求、む、ら、う、早、も、考、つ、る、夕、風、も

い、い、か、は、む、繩、子、乃、乃、ゆ、て、の、方、より、一、隊、の、男、二、十、人、計、り、各、散
群、の、奥、に、奔、り、考、え、や、ふ、打、候、合、子、て、出、来、る、也、不、進、に、三、人
い、長、高、く、骨、達、一、げ、な、ら、う、腰、も、長、き、支、口、を、横、い、急、に、走、り、ま、
れ、と、鬢、髭、や、う、く、と、鬆、け、亂、れ、月、代、の、痕、を、伸、直、し、く、垂、ふ、
持、り、れ、一、退、程、の、浪、人、と、一、目、よ、そ、進、と、知、れ、り、う、其、間、漸、陽、の、
上、落、暮、の、事、な、れ、い、定、り、よ、そ、れ、と、い、見、ぬ、何、と、や、らん、其、風、骨、
故、殿、大、川、為、り、州、々、を、走、り、其、外、の、汽、い、何、も、口、里、乃、破、
落、戸、賭、博、を、以、て、事、と、常、の、産、な、き、遊、民、も、と、と、り、形、容、各、
一、と、い、て、適、身、小、れ、い、ん、は、し、の、刺、繍、せ、り、何、を、或、は、事、も、無、し、袖、を、ま、
く、う、は、し、は、ら、う、さ、ら、に、裾、を、掲、げ、大、路、せ、直、し、立、並、び、く、は、あ、み、
考、ら、う、何、れ、事、好、む、げ、ち、な、者、れ、と、見、て、な、ま、い、屋、を、身、の、用、を、



第九卷 山水 第一



竹依草衣金行繪卷三

四

悪漢為大に脱ひ。是より何きりて賭するも。何の愁ひも出ぬ。
 小虎子其城得たりとて奔を以るる大なる。此或いその後子
 るも勢くくべし。賭博の散一。或るさふ男子文の悪漢亦
 を引具して。富野此修なる多きおる。以恩りも齊く
 顔を見合し。勢の中。重蔵を胸の痛を打忘れ着る
 菅笠をさぐり。持隠し。持る刀を。菅笠も。以手早に振り
 振りや。廣瀬成瀬大川なる。此や。岩見重花兼足を見忘し。
 父の讐言や。り道さ。と大勢。小守り。は。廣瀬軍。在。清門。持。世。大
 口と開き。嘲笑ひ。い。り。も。名。婦。少。り。重。る。遺。恨。甚。る。方。な。く。此。が
 父重丸清門を討。拵。立。退。る。武。門。の。習。性。む。小。足。り。毛。ゆ。が。分
 際。に。く。我。等。城。廻。ひ。撃。ん。か。や。い。お。ひ。去。り。返。り。撃。も。不

便り。此。も。艶。し。も。復。仇。の。志。は。あ。り。又。と。確。り。は。し。り。
 日。母。の。福。と。ぬ。是。れ。と。大。学。先。純。諸。君。力。足。踏。み。蹴。り。け。り。
 衣。の。端。折。る。く。爪。挿。む。せ。大。川。八。左。衛。門。國。忠。大。音。何。げ。何。糸
 け。奴。等。不。我。が。手。を。下。に。直。も。な。や。ね。を。杜。丁。其。日。來。教。一。番。こ
 る。腕。試。し。一。番。何。て。娘。め。よ。也。指。揮。の。下。より。悪。漢。も。先。生。達
 の。敵。な。る。師。弟。の。好。意。我。く。結果。や。え。と。血。氣。一。途。此。忌。せ。度
 言。大。服。差。の。端。甘。げ。或。は。梅。を。引。き。き。岩。見。一。人。を。斬。り。圍。め。ば
 重。花。思。て。果。怯。なり。廣。成。丸。の。臆。病。武。士。尋。常。の。端。負。せ。よ
 と。苞。の中。より。至。君。完。戸。安。藝。也。兼。隆。より。賜。り。優。前。國。光。の
 服。着。る。武。足。八。寸。の。業。物。拵。致。して。切。て。懸。る。を。惡。意。等。押。辱。せ。て
 已。方。より。懸。り。め。んと。さ。る。如。を。重。花。兼。足。事。も。せ。ば。振。回。る。

母の光を電の如く迫く者瓜左右若後はより交り伸るを不
運と切て迫るは瞬く内は支三人と切例し。小髻肩峯腕を股
創を被しむる者敷を知りて突も烈しき刀風は面と向ふき
柄も驚き當りて忍び臥兼足難も勇を振りて口を八寸
と迫散し。一息はひくえしり成瀬大學助光純寂然より
とくと竊ひ見く。成瀬村世向ひ中は渠宗家あり継業
を働らけり。親直者おめ呼吸苦しき突俣。必定病後よもや
在ん何程の事りなき。我今撃殺し推中さんと二三寸の刀
妻服子持へ穿しをりけて重靴お渡りあふ互は字ゆり子番と子
重上は合下は不用き刀鋒併んで火花迸り。磨あし細接を
聲帛を裂く。勝負の色い分はほほ兼足胸痛いぶ痛やうぬ。

多勢を敵し不敷刻の血氣を疲れ流石鉄石の身は何れ
公作乱を動されば刀の助程やうなるや。大學はとりと結んで
重靴がたりの肩尖三寸許り斬下ふ却脱。鬪子を踏を蹴蹴し
け方れ茂梅はあびて待居らふ。さきに兼足が大音子能く敵を
呼て名若掛しを穿しりも。むいそらに連れども。足の詞の程を忠
ひ強く胸襟を推鎧め漸次重衣のし清き久しきものぬふ。
子よた如く奮激の烈し死を刀音人勢をかえらるるは痛くはじ
眼のま時子次第は着て物のあつちも定りふ刀々多ねが鬪子を
終り思ひ得る森の中よりをり出くありしが兼足は子も傷俣
小大は勢は用意の中刀をうまや接く。成瀬と目かけ互あふ
面紙。大川八尾唐門女子らをもと口々々色い立寒うく大子と握は



五入雀後編卷二



後傳英左衛門金右衛門卷二

捕んとておぼはしき子をかひ潜るを里形を固思まらざれば幸乃
瑞成にて引度せし是れなり口を揮て切付らとをばはらうとめ
まうじ。又切掛の鋒を抜け潜りつ。子えおへて捕えんものこと
らゆた。嗣子整もよせ付け透もなきり拂えんと勢を鋭くおひ
ぞ八左衛門進も生搦るへけしと。大子怒り。面倒りる女郎めが
子向ひつらと飛して接合せ一往一來しつと。勢を合せ嗣子
一向におあせ。何とや愛と打捨て。兄の苦戦試ぬんと。透を見
馳ぬんくと。返はせし。大川も老練のものれば早くも干撥と
一々ん眼を配りて久も。後切掛ぶ然れば兼足も水原光純と
け時程も火あふ。我ひも。目早くけ体とら。是も。はじく
妹よ力を併せんと。むを何と引られや。別雷の成原大學勝と

なる將親まうてりる中か。一息の透回も。情むべし。孝子乃
薄命。友に極し。や兄も妹も生死の隙にお救ふことある。命と
ふ。とむくに我なり。重花はうくして。果と。氣力をぶ。光純が
おこむ刀を身以。沈てた。避付つり。拂ふ切先成。激が。子。の。言
も。さ。さ。あ。ら。ま。切。り。込。び。た。ぢ。く。と。は。さ。う。く。重。花。兼。足。透。と
け。せ。だ。踏。込。く。切。り。立。せ。ば。し。もの。大。學。ま。さ。徳。を。刀。よ。ち。り。海
子。三。ヶ。所。負。ふ。程。軍。右。衛。門。持。世。と。り。け。内。を。ま。ま。ま。一。右。刀。切
付。透。り。兼。足。左。衛。門。を。初。右。刀。お。切。付。お。は。さ。度。の。以。透。お。切。を
ゆ。り。控。し。ら。う。今。の。内。免。あ。き。と。切。て。出。れ。ば。重。花。大。子。怒。り。又。を
討。ち。初。右。刀。の。恨。今。返。さ。し。た。と。激。差。よ。る。れ。と。打。込。刀。を。岡
と。う。じ。お。さ。う。一。振。舞。や。い。で。我。も。な。ま。と。ん。よ。と。ま。向。一。大。學。助。大

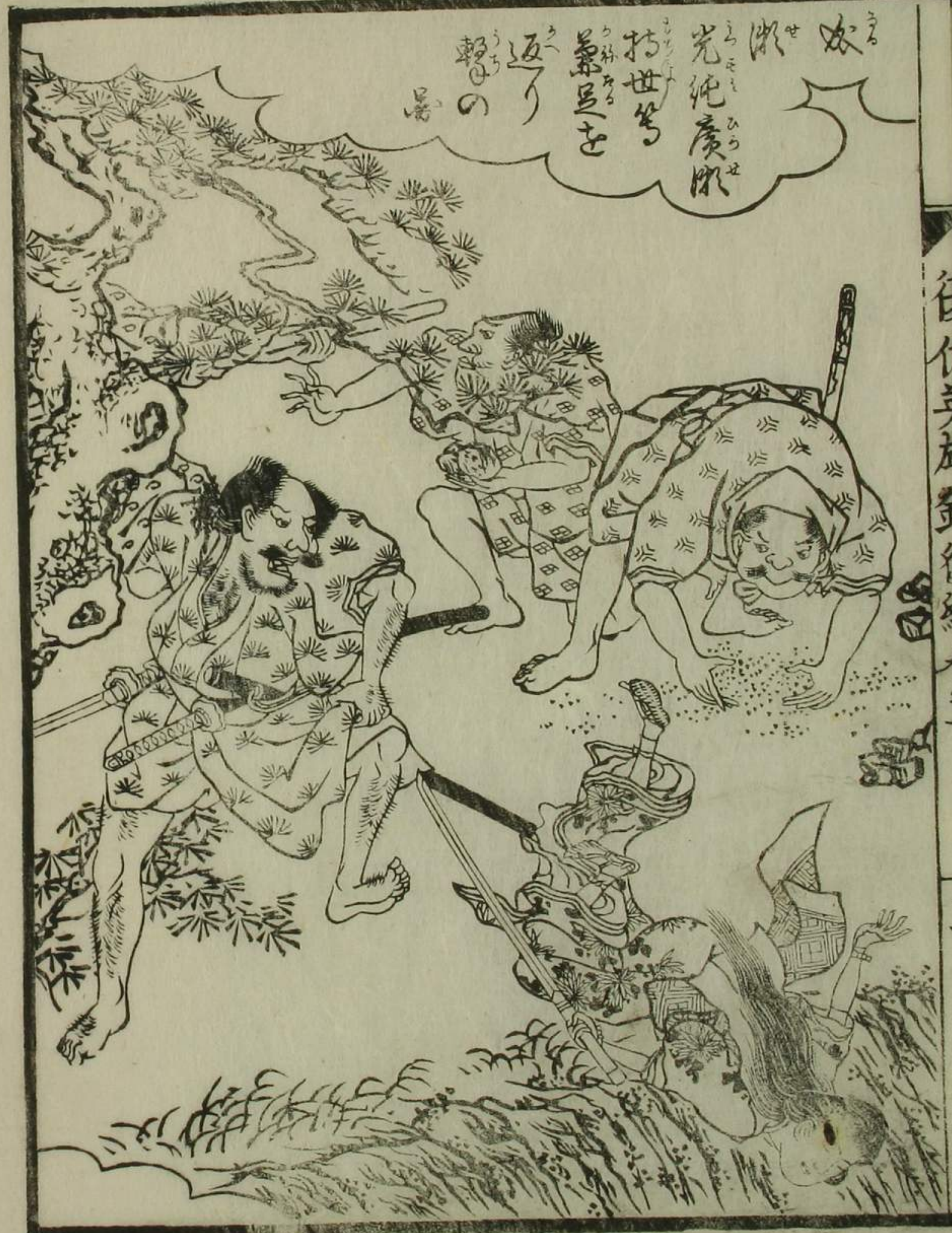
不力を以。鋒を並べ、双方より挿みて討てり。とて、岩を以て
 右にありたを、支へて、さき、廣瀬軍右衛門が、先向を切つたを
 子足の持せ。かゆるりと、身をこら、右の、小盤の、つぎ、より、肩
 せんけ、切せ、る、が、も、沸、る、れ、び、と、も、せ、び、刀、より、の、一、兼、足、より
 子、此、殺、と、搦、取、と、又、寸、升、降、り、に、切、り、れ、び、兼、足、より、見、ま
 せ、り、病、苦、の、よ、い、ひ、痛、み、か、た、ひ、ぬ、れ、ば、と、も、本、妻、り、ん、が、に
 意、的、の、お、ひ、で、せ、めて、一人、の、真、途、の、侍、は、右、連、人、と、必、死、を、極、し、憤、怒
 の、切、先、熱、身、の、兼、足、深、る、が、猛、虎、懸、然、の、勇、気、より、い、嗚、き、叫、ん、ど、
 血、戦、を、さ、ま、い、持、せ、先、純、友、人、も、死、憤、れ、勇士、の、奮、激、不、あ、り、は、な、し、
 兼、足、と、も、は、進、ま、り、れ、り、と、討、て、く、り、り、進、む、大、川、に、必、死、と、一、と、勵、
 壯、丁、の、力、を、合、せ、兼、足、倒、れ、り、あ、る、が、嗣、子、を、と、り、持、せ、飛、目

かけ、強、け、を、嗣、子、の、先、純、友、人、は、信、や、と、進、め、り、を、ま、あ、り、
 八、右、衛、門、が、右、の、肩、を、背、け、り、礎、と、斬、取、圍、忠、振、返、す、て、大、怒、
 り、是、成、飛、り、と、嗣、子、の、膽、を、志、た、り、又、跳、り、り、進、む、と、叫、ん、て
 傍、り、る、小、溝、の、中、へ、落、入、り、大、川、を、か、せ、き、再、び、と、れ、と、顔、を、兼、足、
 廣、瀬、軍、の、戦、ひ、胆、力、と、兼、足、は、あ、り、か、つ、右、衛、門、の、そ、う、暗、り、進、む、も、
 兼、足、の、順、禮、の、打、拵、と、白、衣、と、替、り、と、目、標、に、と、ま、く、の、要、堂、
 也、廣、瀬、軍、隊、大、川、の、力、を、添、ひ、し、石、を、砕、き、砂、を、掴、て、擲、
 り、け、く、惱、み、を、ま、り、兼、足、刀、を、振、ふ、て、石、を、拂、ひ、袈、裟、を、鬨、
 深、き、十、分、辛、苦、の、透、り、あ、り、せ、び、持、せ、先、純、國、忠、等、を、う、け、り、
 切、る、去、れ、兼、足、痛、み、を、屈、せ、秘、術、を、遣、い、二、方、は、あ、り、と、躍、
 揚、り、飛、遠、ひ、若、戦、の、お、扱、是、や、夕、月、沈、ん、ど、又、は、曙、き、曉、光



度内兵権録後編卷一

十三



女
 光純
 持世
 頼の
 返り

度内兵権録後編卷一

十三

さうさうゆづを弄する如く。當るを幸ひ破敵難くと。二回之間
投げぬ。雷の如き大音。ゆづ何者。野外の途中。之が
昔め聞得るや。あるは野武士。盜賊の流る。も蒲生右馬助。安
真が節。小然る者。あるは定て團。萬右衛門。永頼。わ
仔細。よる。一人も許さぬ。と。呼つる。は。廣瀬。を。始め。成。成。大
川。一月。岩見。氏。主。切。ある。を。第。右。衛。門。永。頼。層。も。る。さ。い。と。登。
先。子。進。じ。大。川。が。切。込。口。を。引。く。腕。首。捆。く。曳。聲。う。け。三。回。何。や。
投。除。け。健。く。は。廣。瀬。持。世。の。顔。先。を。拳。を。固。く。丁。と。懸。御。も。力。も
万。丈。不。當。の。豪。傑。の。拳。れ。は。軍。右。衛。門。眼。暗。み。血。垂。て。う。づ。ば。り
葡萄。ふ。と。海。を。胴。腰。う。け。蹴。け。ら。ば。杖。二。丈。の。あ。り。蹴。や。す。る。
大力。輕。捷。向。ふ。若。き。勢。ひ。は。水。原。大。學。如。先。純。と。も。我。疾。進

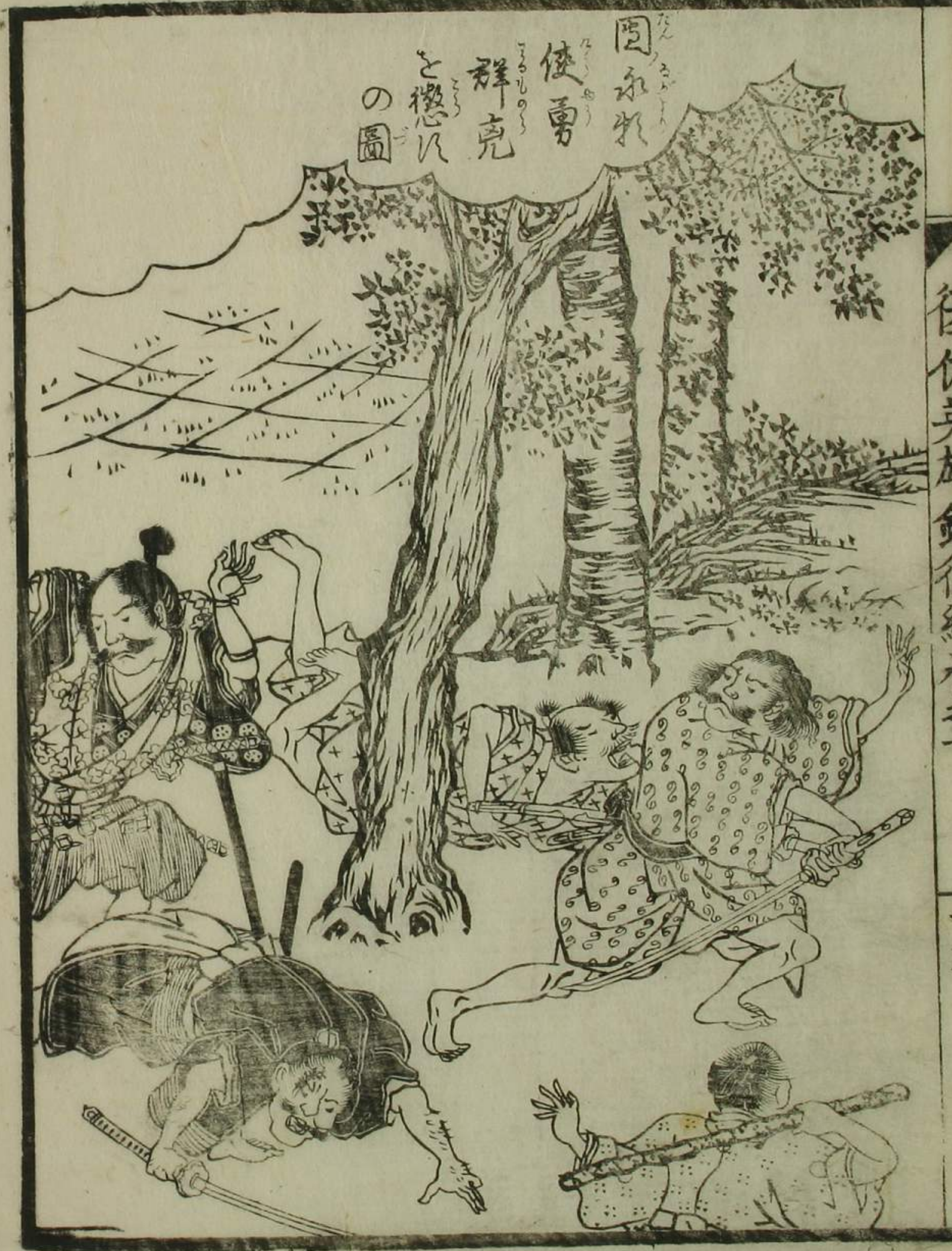
我。く。許。す。も。亦。も。各。負。ぬ。是。は。彼。が。勇。不。敵。一。難。と。一。番。子。道
出。せ。い。大。川。國。忠。廣。瀬。も。た。ふ。も。是。も。思。進。記。う。づ。と。逃。れ。何。と
に。勝。る。の。意。當。る。も。舌。を。握。ひ。肝。成。潰。し。周。際。を。め。た。敵。く。水
く。輪。舞。子。を。う。づ。め。く。逃。ら。る。固。永。頼。も。も。何。れ。先。と。打。突
ひ。ん。子。負。と。技。事。仔細。同。ん。と。う。り。ら。が。推。進。し。提。打。を
先。前。何。處。へ。投。や。り。ん。端。る。れ。は。如何。せん。と。立。ち。方。亦。は。亦。も
誰。と。も。知。ら。ぬ。提。打。成。推。進。し。く。を。り。ま。る。く。あ。り。方。右。衛
門。大。小。提。び。會。釈。も。く。その。端。智。一。備。用。せん。と。引。合。り。と。あ。り
里。成。懸。く。見。る。れ。は。膝。む。む。一。岩。見。重。藏。兼。足。部。箇。下。の。麻。解
血。一。身。小。儘。れ。備。小。刀。三。折。く。ま。る。あ。そ。永。頼。卒。を。う。け。板。子
を。同。小。を。若。き。勢。ひ。と。揚。妹。の。あ。り。ぬ。嗣。子。の。せ。り。と。云。ふ。は

喧嘩口論はもの和解とあつひい由(誤)使兼とい人子許
 されい。さきの言前もいさふ教多の人聲。闘争の扱子よい也へ
 何事やらむと又思ふ多ういさ。先刻より方くの御形勢と申
 始終の御同音も側より口述(誤)承了(誤)感候子及び
 居りいなりと同(誤)語も真実のありを誤(誤)その風情。永於こ
 くに見漸し。いさそ元子始て違(誤)某(誤)囁(誤)我(誤)の上
 先より傳(誤)空(誤)言(誤)改(誤)言(誤)見(誤)如(誤)
 孝子兄弟の此場乃(誤)為(誤)武門(誤)情(誤)見(誤)何(誤)年(誤)其(誤)許(誤)
 引(誤)是(誤)人(誤)也(誤)第(誤)事(誤)の(誤)間(誤)万(誤)右(誤)邊(誤)門(誤)永(誤)於(誤)力(誤)不(誤)引(誤)人(誤)足(誤)下(誤)の(誤)人
 林(誤)任(誤)使(誤)と(誤)見(誤)込(誤)於(誤)入(誤)と(誤)義(誤)我(誤)見(誤)て(誤)進(誤)む(誤)勇(誤)者(誤)の(誤)一(誤)言(誤)を(誤)平
 早くも得(誤)込(誤)世(誤)の(誤)豪(誤)傑(誤)と(誤)申(誤)御(誤)方(誤)の(誤)御(誤)託(誤)と(誤)く(誤)と(誤)承(誤)知(誤)仕

つ。け上(誤)年(誤)か(誤)る(誤)野(誤)邊(誤)智(誤)も(誤)初(誤)て(誤)あ(誤)る(誤)き(誤)や(誤)負(誤)り(誤)き(誤)柄(誤)見(誤)若(誤)友
 い(誤)い(誤)我(誤)お(誤)一(誤)御(誤)案(誤)門(誤)中(誤)へ(誤)ん(誤)と(誤)つ(誤)る(誤)承(誤)於(誤)甚(誤)快(誤)び(誤)中(誤)の(誤)路(誤)次
 休(誤)興(誤)も(誤)も(誤)進(誤)む(誤)我(誤)自(誤)子(誤)負(誤)と(誤)り(誤)初(誤)べ(誤)り(誤)申(誤)す(誤)方(誤)を(誤)平
 押(誤)込(誤)先(誤)駕(誤)身(誤)近(誤)き(誤)は(誤)ま(誤)も(誤)備(誤)ひ(誤)申(誤)安(誤)ん(誤)い(誤)も(誤)人(誤)を
 待(誤)せ(誤)我(誤)一(誤)人(誤)先(誤)き(誤)を(誤)い(誤)ん(誤)も(誤)此(誤)場(誤)成(誤)の(誤)進(誤)い(誤)や(誤)と(誤)あ(誤)ら(誤)れ(誤)ん(誤)公(誤)若
 し(誤)へ(誤)や(誤)我(誤)為(誤)山(誤)御(誤)方(誤)を(誤)背(誤)負(誤)ひ(誤)申(誤)と(誤)い(誤)く(誤)子(誤)負(誤)乃(誤)側(誤)の(誤)進(誤)
 一(誤)も(誤)嗣(誤)子(誤)と(誤)れ(誤)と(誤)見(誤)ん(誤)と(誤)あ(誤)方(誤)の(誤)御(誤)志(誤)と(誤)せ(誤)涉(誤)る(誤)ぬ(誤)申(誤)ふ(誤)い(誤)一(誤)も(誤)期
 血(誤)汐(誤)の(誤)際(誤)一(誤)も(誤)負(誤)と(誤)背(誤)負(誤)行(誤)終(誤)り(誤)其(誤)時(誤)の(誤)衣(誤)も(誤)も(誤)織(誤)造
 ひ(誤)登(誤)し(誤)う(誤)よ(誤)い(誤)申(誤)す(誤)女(誤)抱(誤)し(誤)初(誤)べ(誤)り(誤)と(誤)申(誤)す(誤)事(誤)も(誤)平
 が(誤)見(誤)分(誤)ら(誤)る(誤)杜(誤)丁(誤)是(誤)と(誤)御(誤)神(誤)の(誤)事(誤)成(誤)守(誤)し(誤)名(誤)後(誤)を(誤)弛(誤)以(誤)来(誤)り(誤)
 小(誤)若(誤)松(誤)幸(誤)ひ(誤)の(誤)事(誤)な(誤)ら(誤)と(誤)終(誤)終(誤)と(誤)終(誤)り(誤)守(誤)せ(誤)し(誤)男(誤)を(誤)死



度九五八佳录及三册卷之一



圓承
俊勇
群克
と惚
の圖

度九五八佳录及三册卷之一

徳川英雄録後編卷之一
せう。肩輿と備ひ来り。重蔵をいともよき世に
うたごがあへてけいひる

繪本復仇英雄録後編卷之一終

